

第一回  
伊奈波への誘い

語り・唄い・舞う

神楽舞

伊奈波神社

れきし唄ものがたり

「石山」

長沢由彦

語り舞 源氏女人抄

「葵上」

出雲草・松本あり

2019年

5月19日(日)

14時半開演 (14時開場)

入場料500円(自由席)

会場 伊奈波神社 参集殿

岐阜市伊奈波通1-1

お問い合わせ TEL (058) 262-5151

FAX (058) 262-5153

※駐車場は限りがございます 岐阜バス「伊奈波通り」下車

毎年多くの人が参拝に訪れる伊奈波神社。

お参りだけでなく、もっと気楽に訪れていただきたい場所。

「縁日のように人々が集い、そこで心に残る行事を」

この度、「伊奈波への誘い」の公演を開催する運びとなりました。

金華山に包まれたこの素敵な場所で、今まで感じたことのないひとときをお届けできましたら…

ご挨拶 伊奈波神社 宮司 上杉 千文

日頃は、伊奈波神社へ崇敬の念を賜り誠にありがとうございます。昨年二月に宮司となりました上杉千文（うえすぎちふみ）と申します。

従来から様々な催事が行われましたが、引き続き多くの皆様方が楽しみにご来社戴き、大いに活気ある神社にしたいと検討して参りました。幸いにも唄うたいの長沢由彦様と舞踊家（アナウンサー）の出雲草（松本あり）様にご相談を致しましたところ、初めての試みとして「第一回伊奈波への誘いー語り、唄い、舞うー」を催行することができました。素晴らしい調べをご堪能戴きたいです。

今後も継続できるように努力したく、また他の催事も色々と考えたいです。祭典や様々な催事によりご神威が益々高まり、ご来社の皆様方の心が更に豊かになりましたら幸甚でございます。今後とも宜しく願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

れきし唄ものがたり「一石山」

語りと歌と、ギターでつづる「岐阜のつたえ話」。

家を追い出された怠け者の源太は、あちこちさまよい歩き、東北の金華山へたどり着きます。

そして……。

岐阜の金華山がどうやって生まれたのか、それはそれは不思議な物語。

長沢 由彦

岐阜市出身。岐阜市芸術文化協会会員

13歳からギター、15歳から作曲活動をはじめ、家業の傍らアマチュアバンドなどで演奏活動。2008年『岐阜のつたえ話弾き語りライブ』を開始。

2018年春、活動10周年を機にオリジナルDVDを発表、市内の子供たちに岐阜の歴史文化を広く知ってもらうため、幼稚園、小中学校など約200箇所に無償配布した。民話のほか、童話、唱歌、フォークソング、歌謡曲など幅広いレパートリーで演奏活動を行っている。

語り舞 源氏女人抄「葵上」 作 岡本一彦 演出 出雲蓉

一人で語りと舞で繰り広げる、どこにもない世界。

千年前に描かれた日本最古の小説「源氏物語」。光源氏を取り巻く二人の女人、身分の高い六条御息所と正妻「葵上」の確執を描く車争いの場面。

葵上の心のうちにスポットをあて描く物語。

いずも そう

出雲 草=松本あり

中京テレビアナウンサーを経てフリーとなり、地元岐阜放送でDJやリポーターを経験し、現在、ZIP-FMアナウンサー・司会・ナレーターなど行う。

地唄舞名取・出雲草としても活動。独自の世界「語り舞」を生み出し、源氏女人抄シリーズやお伽草紙シリーズの公演を展開。「日本語のひびきと日本人ならではの所作を大切に」地道に活動を続ける。名古屋市文化振興事業団【芸術創造賞】受賞。2019年9月19日（木）名古屋 三楽座 語り舞10thライブ開催予定。